

## 政策4 地域福祉の推進



### 現状

子育て支援は、生活支援策、保育所改修等の環境整備や子育て支援センターの運営強化など重点的に取り組んでいますが、保育所の利用希望に対する供給が不足しています。

後期高齢者数の増加により介護給付費は上昇傾向です。介護サービスは中空知近隣を基盤として利用しているためサービスの不足感はなく、町独自の福祉サービスも一定の利用率で推移しています。

障がい者福祉は、制度の普及によりサービス利用者数・給付費ともに年々上昇しています。町内に事業所がないサービスは、近隣地域の事業所を活用してカバーできていますが、就労の場の拡大は必要となっています。

少子化の進行、75歳以上人口の今後数年間の上昇、家庭環境や働き方の多様化等、社会的環境の変化が著しいことから、地域のつながりの希薄化が進んでいます。

#### 【新十津川保育園入園状況】

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
H29	0	11	21	21	12	14	79
H30	3	5	19	24	24	13	88
R1	3	16	12	22	24	26	103
R2	3	13	21	17	24	25	103
R3	3	13	15	27	20	25	103

(資料：保健福祉課 10月1日現在)

### 課題

- 子育て支援は、対象者数の長期的な推移を分析し、需要と供給のバランスを検討しながら多様な支援内容を検討していく必要があります。
- 高齢者福祉は、介護サービスの利用者が今後数年間は上昇していくことが予測され、サービス利用の動向とあわせ、近隣市町の事業所の動向も把握しながらサービス提供量の過不足について検討する必要があります。
- 障がい者の福祉においては、サービス利用の動向分析や適正利用推進と並行し、地域格差の是正や必要な支援提供に向けた取組が必要です。
- 各種制度（介護保険法、社会福祉法など）の改正による「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の一体的な提供や町民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、地域共生社会の推進に取り組むことが求められています。



## 展開方針

一人ひとりが安心して幸せな暮らしの実現に向けて、地域が一体となり、みんなで支え合う多様な体制や仕組みづくりと生活しやすい環境づくりを推進します。

## 実施する施策

- ①子育て支援の充実
- ②高齢者福祉の充実
- ③障がい者福祉の充実
- ④地域共生社会の推進



児童館ちゃっぷーる



シルバーオリンピック



## 実施する施策の内容

### ①子育て支援の充実

安心して子どもを産み育てていく環境づくりを推進するため、子育て世帯に対する経済的負担の軽減や相談支援体制を充実させ、妊娠期から切れ目のない支援を推進します。

#### 【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自覚と責任をもって子育てを行う。</li> <li>●適切な児童福祉サービスを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援の体制を整える。</li> <li>●ニーズに合ったサービスを提供する。</li> </ul>

#### 【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
出生数（年）	27人	30人	30人	30人	30人	30人
各種支援策がこのまちで子どもを産み育てたいという機運につながっているかを図ることができることから、町出生数とします。						
得きっすカードの割増ポイント付与率（%）	67.5%	69.0%	70.5%	72.0%	73.5%	75.0%
子育て世帯への直接的な経済支援策であり、割増ポイント付与状況で支援策としての満足度を測ることができることから、得きっすカードの割増ポイント付与率とします。						



得きっすカード



実施する施策の内容

②高齢者福祉の充実

住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、高齢者やその家族の状況に合わせた福祉サービスを提供します。

【役割分担】

町民	町
●サービスを有効に活用する。	●サービス体制を充実させる。 ●サービスの情報提供を行う。

【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
65歳以上人口に占める要介護認定者の割合 (%)	13.0%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%

要介護の認定とならない人数割合が、介護予防活動の実践成果の指標となることから、65歳以上人口に占める要介護認定者の割合とします。



すまいるあっぷ事業





## 実施する施策の内容

### ③障がい者福祉の充実

障がいのあるすべての人が、必要な支援を受けながら地域において活動できるよう、サービスの充実を図ります。また、社会活動が円滑に営めるよう、社会的な環境整備や意識づくりを推進します。

#### 【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービスを有効に活用する。</li> <li>●障がい者への合理的配慮を理解し、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス体制を充実させる。</li> <li>●障がい者を取り巻く課題に関し、情報提供と環境改善を行う。</li> </ul>

#### 【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
町民アンケートの障がい福祉サービスの充実に係る満足度（ポイント）	65.5P	66.0P	66.5P	67.0P	67.5P	68.0P

障がい者福祉に関する町の取組に対し、町民がどのように評価するかを図れることから、障がい福祉サービスの充実に係る町民アンケートの満足度とします。



あざれあ工房（障害者総合支援法に基づく  
地域活動支援センター）の制作品



## 実施する施策の内容

### ④地域共生社会の推進

年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち安心した生活を送ることができるよう、町民の主体的、積極的な活動を推進します。

#### 【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困りごとは抱えずに誰かに相談する。</li> <li>● 地域での支え合い活動や自主的な生きがい活動等を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 町民が相談しやすい体制を整備する。</li> <li>● 地域福祉活動への参加を促進する。</li> </ul>

#### 【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
ボランティアポイント事業における活動実人数（人／年間）	43人	50人	55人	55人	60人	60人

支え合い等、福祉に関する自主活動の状況を把握するため、一般介護予防事業で取り組んでいるボランティア活動や介護予防サポーターへの参加人数とします。



ボランティアポイントカード



## 政策4 地域福祉の推進

### 【主要な取組事項】

- 子育て世帯に対する生活支援の充実
- 子どもの預かりサービスの充実
- 発達や養育の支援に係る相談体制、セーフティネットの充実
- 高齢者福祉サービスの充実
- 介護予防活動の推進
- 介護サービスの充実
- 生きがい活動の充実
- 障がいの特性に合わせた支援サービスの充実
- 障がい者の自立と社会参加の促進
- 障がい者が暮らしやすい社会環境の整備
- 包括的な相談・支援体制の整備
- 支え合い等、福祉に関する自主活動の推進

